

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第1部門第2区分
【発行日】令和5年10月13日(2023.10.13)

【公開番号】特開2022-178884(P2022-178884A)
【公開日】令和4年12月2日(2022.12.2)
【年通号数】公開公報(特許)2022-222
【出願番号】特願2021-85991(P2021-85991)
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 B

A 6 3 F 7/02 3 0 1 C

【手続補正書】

【提出日】令和5年10月4日(2023.10.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

前面を遊技球が流下可能であり、前面側から後面側へ遊技球が流通可能な開口領域が形成された遊技パネルを備えた遊技機において、

前記遊技パネルは、

前記開口領域のうち遊技球の流通が可能とされる有効領域を形成する球流路形成手段と、を備え、

前記球流路形成手段は、

前記遊技パネルに設けられた位置決孔に挿入される位置決突起、及び前記遊技パネルに取付けるための取付孔を有し、前記開口領域に対し正面視で重なるように、前記遊技パネルの前側から取付けられ、

30

前記遊技パネルに取り付けられた状態では、前記有効領域として、一般入賞口に入球した遊技球が流通する第1有効領域と、アウト口に入球した遊技球が流通する第2有効領域とを形成するものであって、

前記第2有効領域の外縁には、前記遊技パネルの前側から作業者が接触可能な特定部を設けられており、

前記特定部は、前記開口領域のうち、少なくとも前記遊技パネルを流下する遊技球が入球する領域の一部と正面視で重なるように設けられている

ことを特徴とする遊技機。

40

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

近年では、環境問題を背景とした資源の有効利用が更に重要性を増している。そのような観点から、遊技機では、より多く部品をリサイクル可能な材質で形成する開発が進められている。またその一方で、遊技機を設置している遊技ホール(遊技店)での機種の入替えサイクルが短くなっており、遊技機の廃棄・解体数は増加傾向にある。そのため、遊

50

技機の分解及び分別に掛かる負担は大きくなっており、その作業を少しでも軽減させたい要望がある。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

例えば、特許文献1に示すような従来の遊技機では、分解するために、入球口として複数の一般入賞口が設けられているサイドユニット（入球ユニット）を前方へ引っ張って遊技パネルから取外そうとすると、入球ユニットが撓むことで遊技パネルの位置決孔に挿入されていた位置決突起が傾いてしまい、分解作業に手間がかかる問題があった。

10

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

【特許文献1】特開2017-018185号公報

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

そこで、本発明は、上記の実情に鑑み、リサイクル等のために分別する際の分解作業を軽減

減することが可能な遊技機の提供を課題とする。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記の目的を達成するため本発明は、

前面を遊技球が流下可能であり、前面側から後面側へ遊技球が流通可能な開口領域が形成された遊技パネルを備えた遊技機において、

前記遊技パネルは、

前記開口領域のうち遊技球の流通が可能とされる有効領域を形成する球流路形成手段とを備え、

前記球流路形成手段は、

前記遊技パネルに設けられた位置決孔に挿入される位置決突起、及び前記遊技パネルに取付けるための取付孔を有し、前記開口領域に対し正面視で重なるように、前記遊技パネルの前側から取付けられ、

前記遊技パネルに取り付けられた状態では、前記有効領域として、一般入賞口に入球した遊技球が流通する第1有効領域と、アウト口に入球した遊技球が流通する第2有効領域とを形成するものであって、

前記第2有効領域の外縁には、前記遊技パネルの前側から作業者が接触可能な特定部を設けられており、

前記特定部は、前記開口領域のうち、少なくとも前記遊技パネルを流下する遊技球が入

20

30

40

50

球する領域の一部と正面視で重なるように設けられている

ことを特徴とする。(例えば、段落[1 4 1 2] ~ 段落[1 4 6 2]、図 1 1 2 ~ 図 1 1 4 等参照。)

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 0】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 5

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 6】

【補正対象書類名】明細書

10

20

30

40

50

【補正対象項目名】 0 0 1 6	
【補正方法】 削除	
【補正の内容】	
【手続補正 1 7】	
【補正対象書類名】 明細書	
【補正対象項目名】 0 0 1 7	
【補正方法】 削除	
【補正の内容】	
【手続補正 1 8】	
【補正対象書類名】 明細書	10
【補正対象項目名】 0 0 1 8	
【補正方法】 削除	
【補正の内容】	
【手続補正 1 9】	
【補正対象書類名】 明細書	
【補正対象項目名】 0 0 1 9	
【補正方法】 削除	
【補正の内容】	
【手続補正 2 0】	
【補正対象書類名】 明細書	20
【補正対象項目名】 0 0 2 0	
【補正方法】 削除	
【補正の内容】	
【手続補正 2 1】	
【補正対象書類名】 明細書	
【補正対象項目名】 0 0 2 1	
【補正方法】 削除	
【補正の内容】	
【手続補正 2 2】	
【補正対象書類名】 明細書	30
【補正対象項目名】 0 0 2 2	
【補正方法】 削除	
【補正の内容】	
【手続補正 2 3】	
【補正対象書類名】 明細書	
【補正対象項目名】 0 0 2 3	
【補正方法】 削除	
【補正の内容】	
【手続補正 2 4】	
【補正対象書類名】 明細書	40
【補正対象項目名】 0 0 2 4	
【補正方法】 削除	
【補正の内容】	
【手続補正 2 5】	
【補正対象書類名】 明細書	
【補正対象項目名】 0 0 2 5	
【補正方法】 削除	
【補正の内容】	
【手続補正 2 6】	
【補正対象書類名】 明細書	50

【補正対象項目名】 0 0 2 6	
【補正方法】 削除	
【補正の内容】	
【手続補正 2 7】	
【補正対象書類名】 明細書	
【補正対象項目名】 0 0 2 7	
【補正方法】 削除	
【補正の内容】	
【手続補正 2 8】	
【補正対象書類名】 明細書	10
【補正対象項目名】 0 0 2 8	
【補正方法】 削除	
【補正の内容】	
【手続補正 2 9】	
【補正対象書類名】 明細書	
【補正対象項目名】 0 0 2 9	
【補正方法】 削除	
【補正の内容】	
【手続補正 3 0】	
【補正対象書類名】 明細書	20
【補正対象項目名】 0 0 3 0	
【補正方法】 削除	
【補正の内容】	
【手続補正 3 1】	
【補正対象書類名】 明細書	
【補正対象項目名】 0 0 3 1	
【補正方法】 削除	
【補正の内容】	
【手続補正 3 2】	
【補正対象書類名】 明細書	30
【補正対象項目名】 0 0 3 2	
【補正方法】 削除	
【補正の内容】	
【手続補正 3 3】	
【補正対象書類名】 明細書	
【補正対象項目名】 0 0 3 3	
【補正方法】 削除	
【補正の内容】	
【手続補正 3 4】	
【補正対象書類名】 明細書	40
【補正対象項目名】 0 0 3 4	
【補正方法】 削除	
【補正の内容】	
【手続補正 3 5】	
【補正対象書類名】 明細書	
【補正対象項目名】 0 0 3 5	
【補正方法】 削除	
【補正の内容】	
【手続補正 3 6】	
【補正対象書類名】 明細書	50

【補正対象項目名】 0 0 3 6

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 3 7】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 3 7

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 3 7 】

このように、本発明によれば、リサイクル等のために分別する際の分解作業を軽減する 10
こ
とが可能な遊技機を提供することができる。

20

30

40

50